

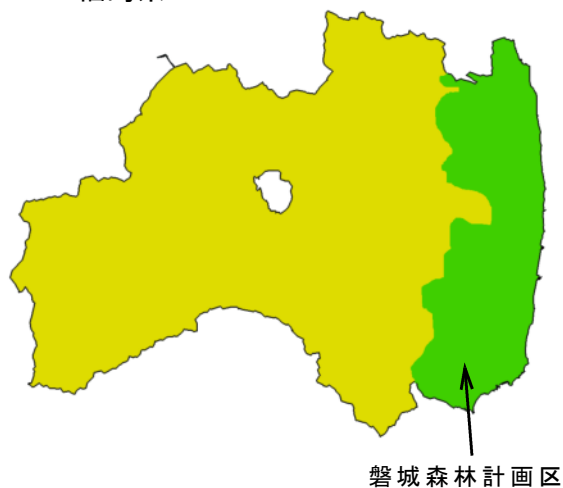
平成24年度に樹立・策定する磐城計画区の概要(案)

1 現行計画の概要



目兼スギ（展示林、111年生）

福島県



(1) 森林計画の概要

ア 位置

当計画区は福島県東部に位置し、太平洋と阿武隈山地に挟まれたいわゆる浜通り地方のいわき市をはじめ3市7町3村に所在する国有林野86千haを対象。

イ 国有林の特徴

国有林は、その大部分が阿武隈山地に源を発する各河川の源流部に位置し、下流域の水源地として重要な役割を担っている。

また、夏井川渓谷県立自然公園等の景勝地も多く、自然探勝やハイキング等の森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として利用されている。

ウ 森林資源の状況

- ・人工林が51千ha、天然林が33千ha。
- ・人工林面積は主にスギ41%、ヒノキ12%、アカマツ35%。21年生～40年生が49%、41年生～60年生が35%と、資源が充実しつつあると同時に間伐期を迎えている。
- ・天然林は大部分がアカマツ、クリ、コナラを主とした二次林である。特に浪江町を中心とした地域には形質良好なアカマツ「津島マツ」が、富岡町などには「磐城モミ」が分布している。

エ 機能類型別面積

水土保持林が76.4千ha、森林と人との共生林が3.3千ha、資源の循環利用林が6.4千ha。

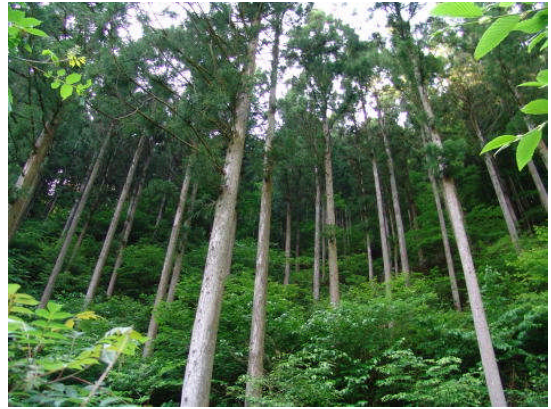
(2) 現行計画の概要

ア 保護林

保護林	5箇所	1,312 ha
-----	-----	----------

イ レクリエーションの森

自然休養林	3箇所	360 ha
自然観察教育林		ha
森林ｽﾎﾟｰﾂ林	1箇所	5 ha
野外ｽﾎﾟｰﾂ地域		ha
風景林	6箇所	489 ha
風致探勝林	3箇所	773 ha
その他	4箇所	7 ha



ウ 国民参加の森づくり

ふれあいの森	38 ha
遊々の森	108 ha

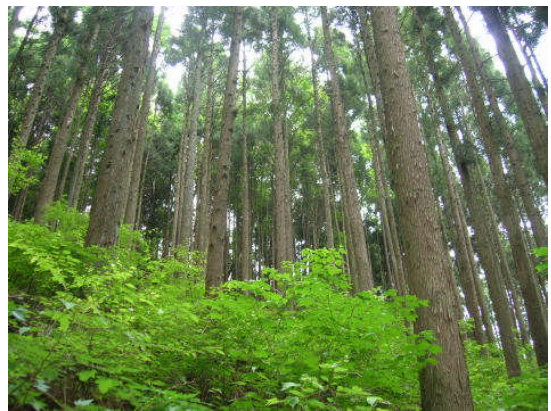
間伐の推進

上：富岡地区

下：勿来地区

エ 伐採・保育事業量

主伐	412,752 m3
間伐	538,640 m3
造林	1,172 ha
下刈	8,806 ha
つる切	1,819 ha
除伐	2,579 ha



下層植生の発達した様子

オ 林道の事業量

林道開設	23路線	33,900 m
林道改良	172路線	16,590 m

カ 治山の事業量

溪間工・山腹工	54箇所
保安林整備	9 ha

2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養機能の向上に資する森林整備をはじめ、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策をはじめ公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の保護林などの設定や取扱いに反映。
- (3) ボランティア団体などが行う森林づくりへの支援。
- (4) 治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
津波により被害を受けた海岸林の復旧。
- (5) 「森林・林業再生プラン」を踏まえ、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業等の普及による間伐材の利用の推進。

市町村別森林面積等

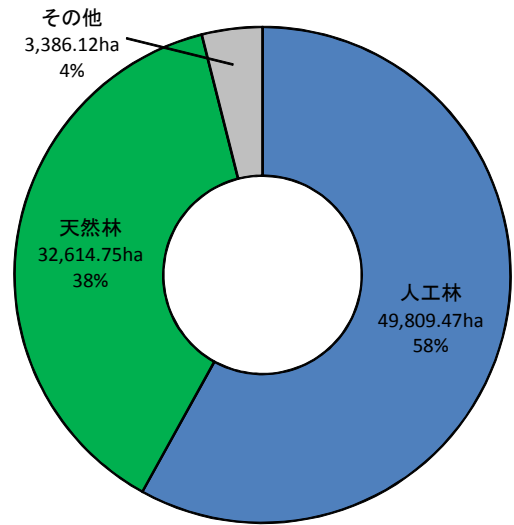
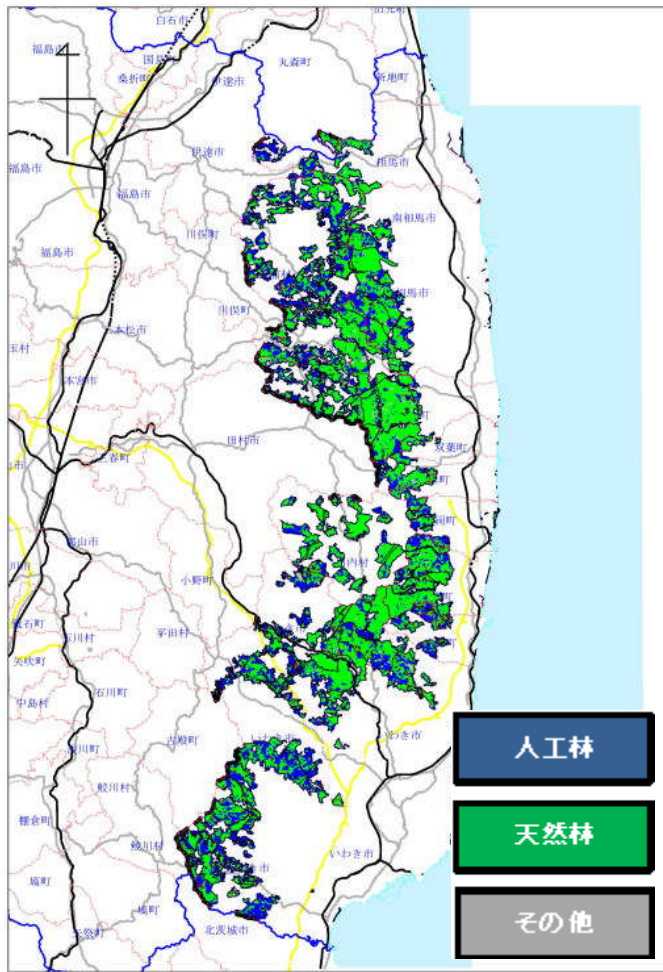
市町村名	市町村面積 A (ha)	森林面積 B (ha)	うち国有林 C (ha)	森林率 D=B/A (%)	国有林率 E=C/B (%)
いわき市	123,134	88,857	30,486	72	34
相馬市	19,767	10,140	2,757	51	27
南相馬市	39,850	21,926	8,772	55	40
広野町	5,839	4,415	1,483	76	34
榎葉町	10,345	7,863	5,894	76	75
富岡町	6,847	4,113	1,359	60	33
川内村	19,738	17,346	5,236	88	30
大熊町	7,870	5,023	2,323	64	46
双葉町	5,140	2,989	332	58	11
浪江町	22,310	16,209	11,890	73	73
葛尾村	8,423	7,037	5,028	84	71
新地町	4,635	1,635	8	35	0.5
飯舘村	23,013	17,463	10,243	76	59
計	296,911	205,016	85,811	69	42

- 注) 1. 市町村面積は「平成18年度版福島県勢要覧」による。
 2. 端数処理の関係で総数は一致しない場合がある。

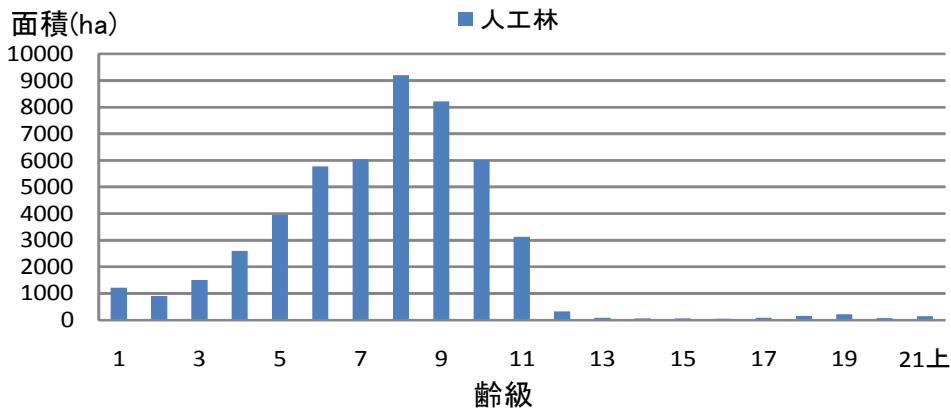
人工林・天然林

人工林・天然林の分布状況

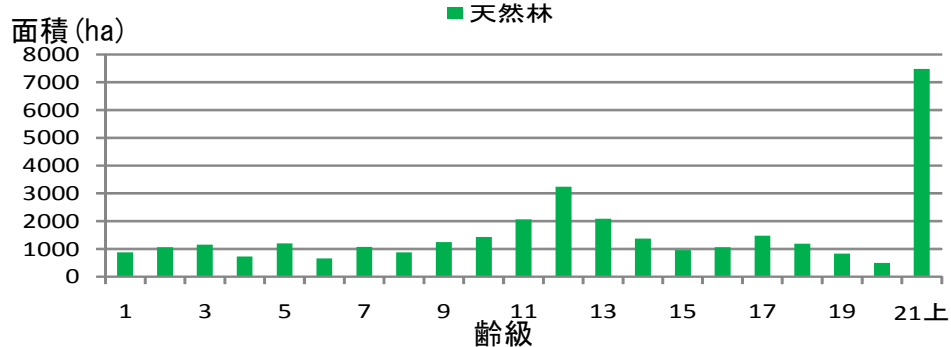
人工林・天然林別割合



齢級別面積



人工林の齢級別では5齢級（21年生）～11齢級（55年生）が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。



コナラ等をシイタケ原木に利用するほか、森林生態系を構成する種として適切に保存します。

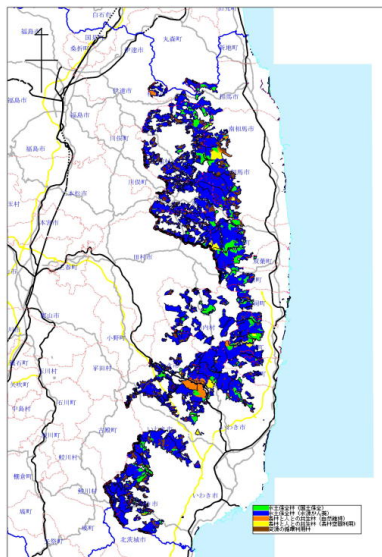
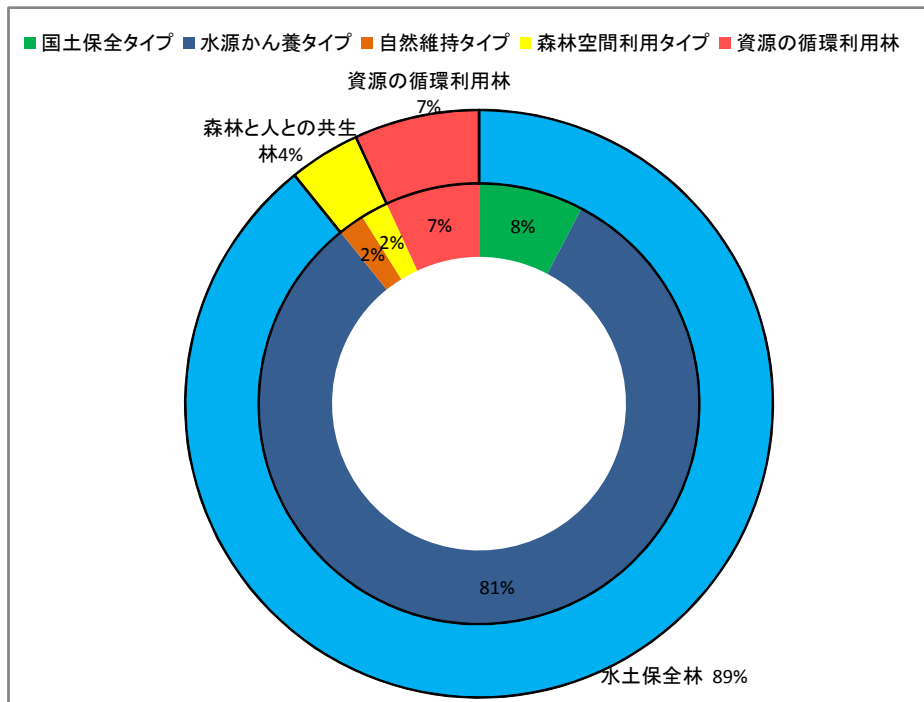
機能類型

機能類型区分について

国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

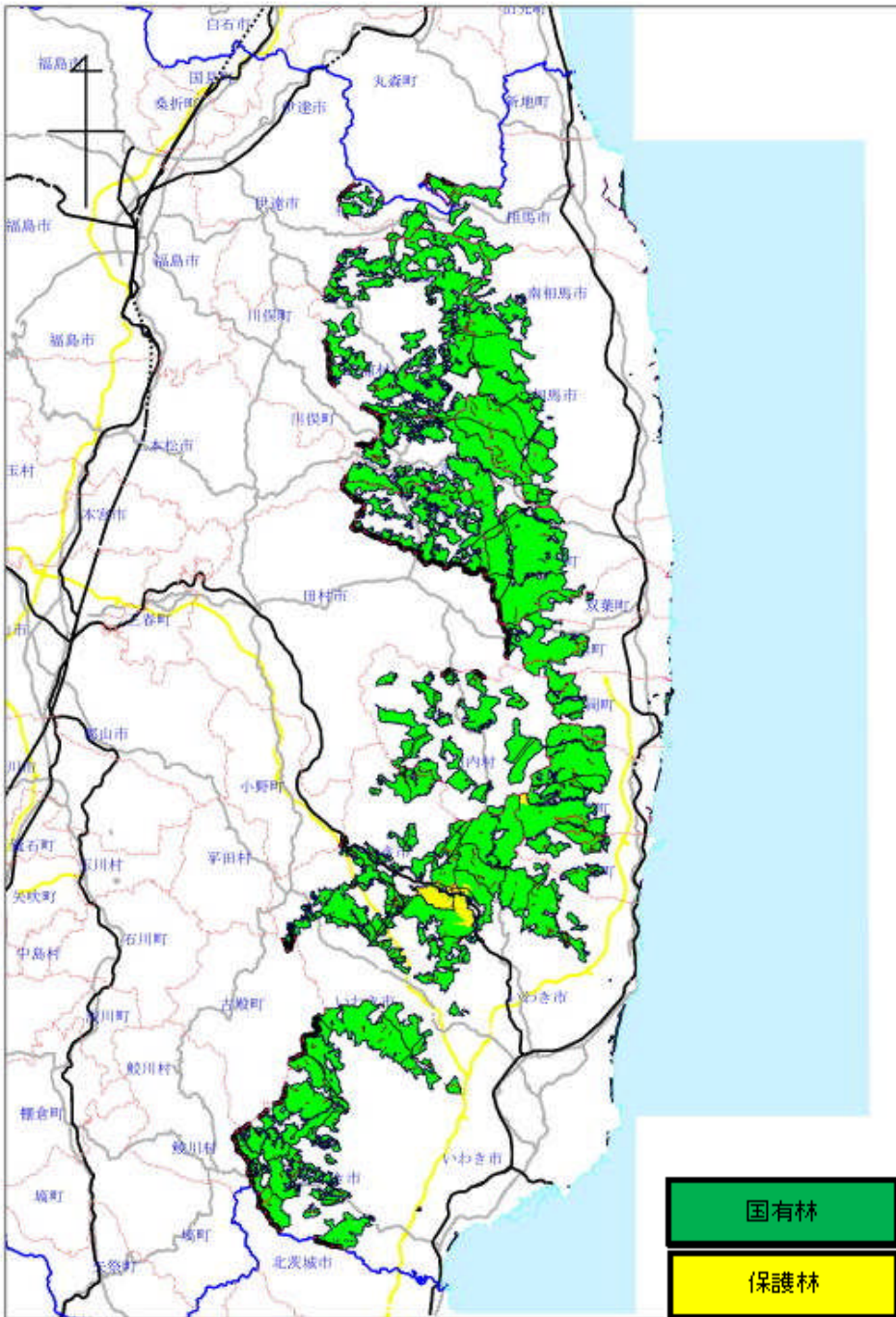
水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進

当計画区の機能類型は、水土保持林89%、（国土保全タイプ8%、水源かん養タイプ81%）、森林と人との共生林4%（自然維持タイプ2%、森林空間利用タイプ2%）、資源の循環利用林7%となっています。



- 水土保持林 (国土保全タイプ)
- 水土保持林 (水源かん養タイプ)
- 森林と人との共生林 (自然維持タイプ)
- 森林と人との共生林 (森林空間利用タイプ)
- 資源の循環利用林

保護林・緑の回廊



【森林生物遺伝資源保存林】
 森林と一体となって自然生態系を構成する生物の遺伝資源を森林生態系内に広範に保存する。

【林木遺伝資源保存林】
 主として林木の遺伝資源を森林生態系内に広範に保存する。

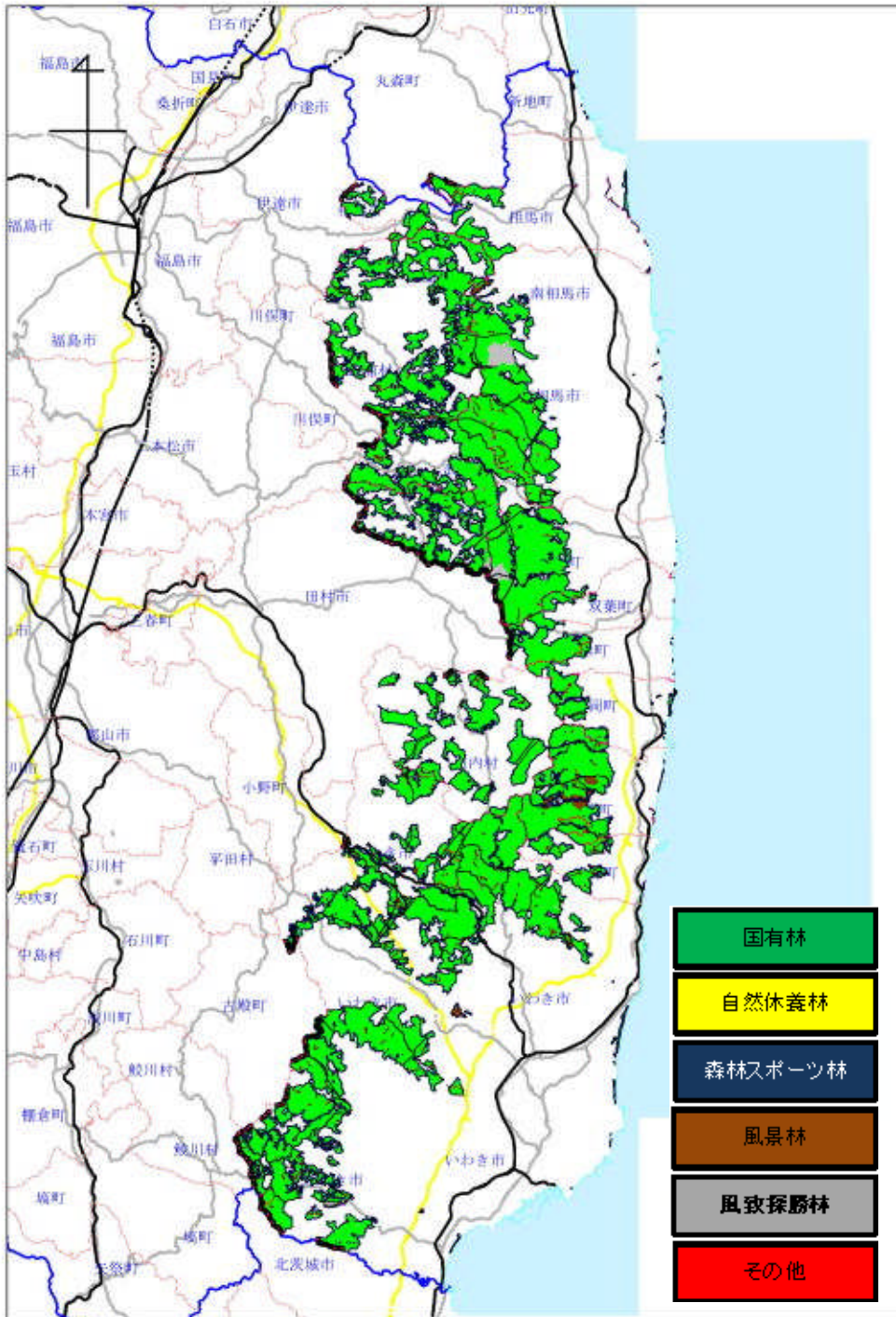
【植物群落保護林】
 我が国を代表するものとして保護を必要とする植物群落等の維持、学術研究等に資する。



津島マツ林木遺伝資源保存林

保護林	名称	面積 (ha)
森林生物遺伝資源保存林	阿武隈高地	1,190
林木遺伝資源保存林	赤井岳ヒノキ	11
	木戸川コナラ	7
	津島マツ	3
植物群落保護林	木戸川モミ・コナラ等	102

レクリエーションの森概要



- 【自然休養林】
自然休養の場として利用しつつ、風致的な森林整備を図る森林の区域
- 【森林スポーツ林】
森林を主体とする野外スポーツの場として適した地域
- 【風景林】
レクリエーション利用上の近景林、遠景林としての風致の維持に配慮する必要のある地域
- 【風致探勝林】
湖沼、溪谷と一体となって優れた自然美を構成している森林等で、森林内における休養活動を助長することに適した地域
- 【その他(単独レク施設)】
単独でレクリエーションの施設の用に供される地域

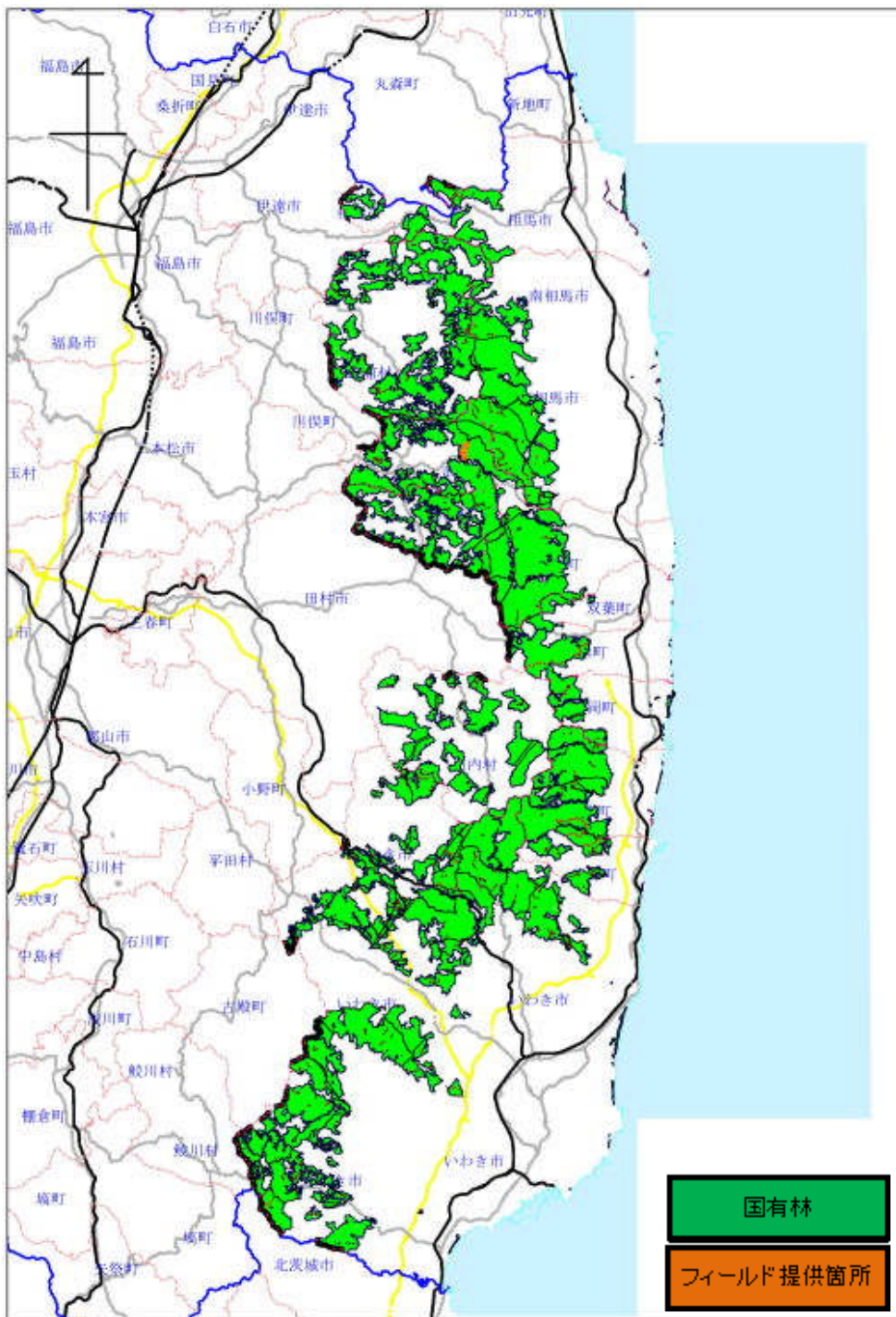
レクリエーションの森	面積 (ha)
自然休養林	360
森林スポーツ林	5
風景林	489
風致探勝林	773
その他	7

四時川溪谷風致探勝林



国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。



【ふれあいの森】

森林をフィールドとした国民の自主的な森林整備活動の場として設定する。

【遊々の森】

学校、地元自治体等、多様な主体と連携しつつ森林環境教育の推進を図るため設定する。

遊々の森（ひみつ基地の森・つしま）

フィールドの提供

種類	名称	面積 (ha)
ふれあいの森	新舞子ふれあいの森	38
遊々の森	ひみつ基地の森・つしま	108

